

## (別紙 12)

## 大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。


実習企業・機関	置賜総合支庁	
実習期間	平成 31 年 2 月 4 日 ~ 平成 31 年 2 月 8 日	
学生氏名	大河原史登	
実習プログラム	<p>一日目 オリエンテーション 物品の調達 県庁舎の見回り 二日目 オリエンテーション 行政懇談会のテーブル起こし 三日目 HP 作業 プレゼンテーションまとめ</p>	<p>四日目 子供芸術祭アンケート入力 駅文のスキャン 五日目 プレゼンテーション資料作成 プレゼンテーション</p>
学び・気づき (300 字程度)	<p>県職員の仕事を具体的に知ることができた。アンケート集計や会議のテーブル起こしなど貴重な体験をすることができた。住民からの信頼を持ってもらうために、常に高い倫理観を持って活動しなければならないと思った。</p> <p>仕事をするうえで、住民や企業、NPO 法人、市町村のつながりが大事であると強く感じた。また、コミュニケーションをとる場面が多く主体的に話すことが大事だと思った。相手に自分の考えを理解してもらうために、情報収集や取捨選択が大事であると感じました。</p>	
今後に向けた 抱負 (200 字程度)	<p>今回のインターンシップでマネジメント力が足りないと思ったので、計画性を持って生活してきたいと思った。また、サークルやアルバイトなどでコミュニケーション能力を高めていきたいと思った。</p> <p>企業に就職した時にはパソコンを使用したり、プレゼンテーションをしたりする場面が多くあると思うので、大学の授業などを通して力を身に付けていきたい。</p>	
インターンシッ プをして気づい た、実習先の魅力 (300 字)	<p>県職員の方と話す場面が多くあり、どんな仕事をしているのか具体的に知ることができる。将来、公務員になりたいと考えている人には、公務員になったときのイメージがわかると思う。職場の雰囲気がよく、わからないことがあれば質問すると優しく答えてくれる。</p>	
写真 (1~3 点)		

## (別紙 12)

## 大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	置賜総合支庁 総務課連携支援室・子ども家庭支援課
実習期間	令和 元年 9月 17日 ~ 令和 元年 9月 20日
学生氏名	高橋 治輝
実習プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携支援室</li> <li>「おきたま元気創造ラボ」の事業説明と運営者へのインタビュー</li> <li>「おきたま元気創造ラボ」次期事業計画立案と作業とヒアリング</li> <li>・子ども家庭支援課</li> </ul> 放課後子ども総合プラン指導者研修会 子ども家庭支援課の業務概要説明 案内状作成とチラシ作成 特定医療費受給者証関係事務（発送準備）
学び・気づき (300字程度)	<p>地域活性化についての企画立案では事業を実施するにあたって、明確なターゲットを定め、その目的と成果がリンクするように考案することで説得力が増すことがわかりました。内容だけでなく文体を統一し、受け手側がわかりやすいように図を用いたり、題目をそれぞれ設定する等の工夫を凝らすことで筋の通った企画書が完成することを肌身で感じることができました。また施設の見学等では利用している当事者の視点に立つことを意識することで当事者の過ごしやすい環境づくりに繋がることを学ぶことができました。さらには施設を担う人材も不足し、ワーク・ライフ・バランスを実現することが困難になっている現状も知ることができました。</p>
今後に向けた 抱負 (200字程度)	<p>今回のインターンシップで作業するにあたってパソコンスキルが大切だと思いました。地域に赴いて活動する組織に所属しており、そこではチラシ作りや学生ができることをテーマとした活動を企画しているのでこれまでと違い自分から作業するように取り組んだり組織を意識した連携に励みたいと思います。さらに研修会等に同席した際に問題を抱える当事者の視点から改善策を見出しながらその問題を全体的に客観視して冷静に分析することで偏った意見や見方にならないことが大切だと考えさせられました。大学内でも定期的に福祉や建築、起業等の多様な種類の著名な方の講演会が開かれているので進んで参加して教養を深めるとともに多くの視点から課題や解決策を考えることの力を身につけたいと思いました。</p>

<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p>	<p>山形県の置賜地方を管轄している中で置賜地方を担う他の機関と連携しながら業務を行っている。市役所の方とも組織やチームを組み、事業等も企画していたので住民や大学生と接点も多くやりがいも感じられる。職員の方からも「組織で活動しているので志も高く持てるし、楽しく業務ができています」との声もいただいた。実際に行った作業が大きな事業や管理に直結するため責任も持てる。同じ課の方々とのやりとりも必要なため協調する能力やパソコンスキル、管理能力、課題解決力が主に育めることができたと思った。</p>
<p>写真 (1~3点)</p>	

実習企業・機関 置賜総合支庁

実習期間 令和元年8月26日～令和元年8月28日  
令和元年9月17日、令和元年9月20日

学生氏名 青野一輝

実習プログラム

・8月26日

オリエンテーション（県庁のお仕事について）

置賜地域の観光動向の説明

旅行プラン（「山形日和。」1 day trip コンテスト）の作り方レクチャー

日帰り旅行プラン作成演習

道の駅米沢総合観光案内所での情報収集

・8月27日

日帰り旅行プラン作成演習

米沢エリアワーキングチーム会議への参加

日帰り旅行プラン作成演習

パンフレット袋詰め

・8月28日

JR 特別列車のおもてなし対応

日帰り旅行プラン作成演習（旅行商品PR用のチラシ案作成）

・9月17日

オリエンテーション（県庁のお仕事について）

おきたま元気創造ラボの説明

おきたま元気創造ラボコアメンバーへの取材

企画作りのアドバイス

・9月20日

おきたま元気創造ラボ次期事業計画立案作業

事業計画ヒアリング（話し手）

おきたま元気創造ラボ企画ヒアリング（聞き手）

学び・気づき

学び

配属や異動、転勤などの公務員の仕事上の特性など公務員のイメージ

置賜・山形の観光事情

プレゼンテーション・企画書作りなどに取り組む経験

積極的な学びの姿勢で臨むことで得られる成果

## 気づき

現場で培う知識・経験の重要性  
自分に欠けている視点の存在  
今後の学生生活で挑戦すべき課題

## 今後に向けた抱負

今回のインターンではプレゼンテーションに挑戦する機会があった。プレゼンテーションの課題に向き合い、自分で考えた提案を導き出すのはやはり難しいことだと再認識させられた。課題に対しての知識面での理解、とっさの発想力や自分の考えを相手に正確に伝えることのできる表現力。そのどれをとってもまだまだ自分には改善すべき点が多い。

1 day で気軽に参加できるインターンシップなどを通じて、より一層の自分のスキルアップができたと思う。自分が少しでも興味を持った業界・企業のインターンシップがあればチャンスと思って挑戦してみたいと思う。

## インターンシップをして気づいた、実習先の魅力

公務員は安定した給与や、部署などによるものの、あまりノルマがないというところは魅力的だと再認識した。営業職などは時に厳しいノルマが課されることもあると聞くので自分のペースで数字に急かされることなく働きたい人には向いているのかと思う。また実習を通してやりがいや熱意をもって働いている方が多いように感じた。特に置賜の地域振興に携わる A さんへのインタビューでは仕事に臨む熱い姿勢に圧倒させられた。仕事に対するやりがいも十分に得られる職場であると思う。

## 写真

